



# 第24回上田八木・金融政策サーベイ(2018年12月)

発表日：2018年12月18日（火）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2018年12月13～17日
調査先	192先
回答率	89.6%

## (Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（12月19日～12月20日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回10月29日)	変化幅
緩和	0 (構成比%)	1	▲1
不変	100	99	+1
引締	0	0	+0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	0	▲1	+1

## (Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回10月29日)	変化幅
低下	2	1	+1
不変	92	94	▲2
上昇	6	5	+1
短期金利予想DI	+4	+4	+0

## (Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回10月29日)	変化幅
低下	4	1	+3
不変	85	84	+1
上昇	11	15	▲4
2年国債金利予想DI	+7	+14	▲7

## (Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回10月29日)	変化幅
低下	5	2	+3
不変	62	57	+5
上昇	33	41	▲8
10年国債金利予想DI	+28	+39	▲11

## 質問(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回10月29日)	変化幅
1. 1年未満	3%	3%	+0%
2. 1年以上3年未満	66%	65%	+1%
3. 3年以上	31%	32%	▲1%